

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城南中学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

### ■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、数学)

- |   |
|---|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。<br>②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。<br>調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。 |
|---|

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

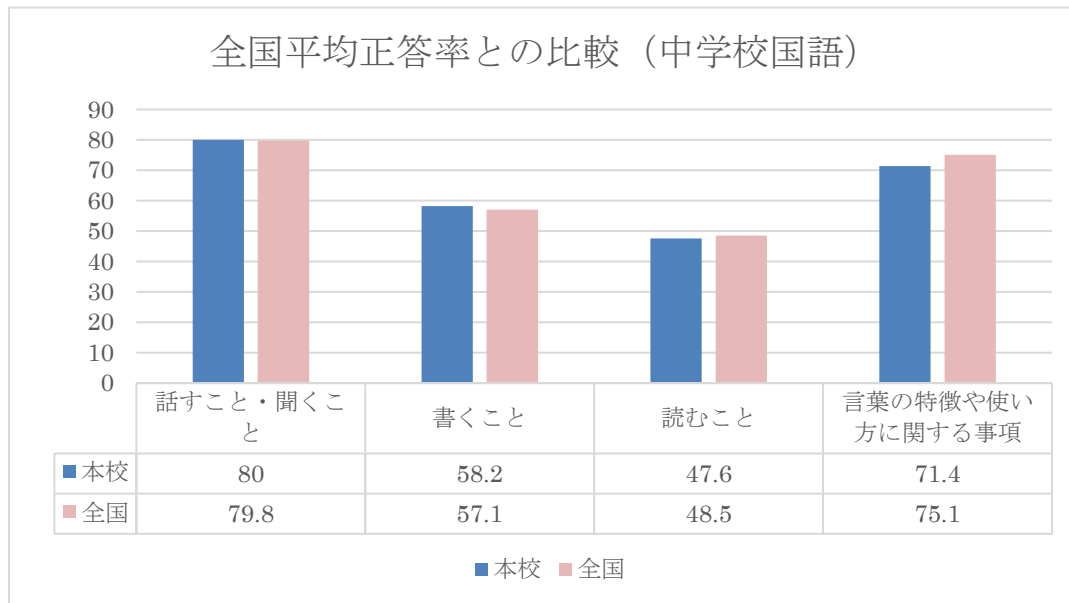
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。4領域のうち2領域で全国平均正答率を下回っています。「読むこと」については正答率が半分を下回っていて、他の領域より落ち込んでいます。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、正答率は7割を超えていますが、全国平均正答率から3.7ポイント下回っていることから、中学三年生として定着すべきことが不足しているのではないかと推測できます。

#### (2) 成果と課題

今回の調査で、4領域とも全国平均と同等の結果であったことから、国語科の力に関してはほかの県と比較して各段に劣るわけではないことが分かりました。「話すこと・聞くこと」に関しては、授業に限らず何に注意しながら聞いたり、話したりするのかを意識させていることが今回の結果につながったものと思われます。また、「書くこと」に関しては、本校生徒が苦手としている領域であることから、授業では意識して書く活動に取り組みさせていることが結果に表れたと考えます。課題としては、文章の表現に表れる筆者の考え方やものの見方をとらえることという「読むこと」に関する力を伸ばすことと言えます。今後の授業では、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」を「読むこと」と連動させた言語活動に取り組みさせることが必要だと考えています。

#### (3) 学力向上のための取り組み

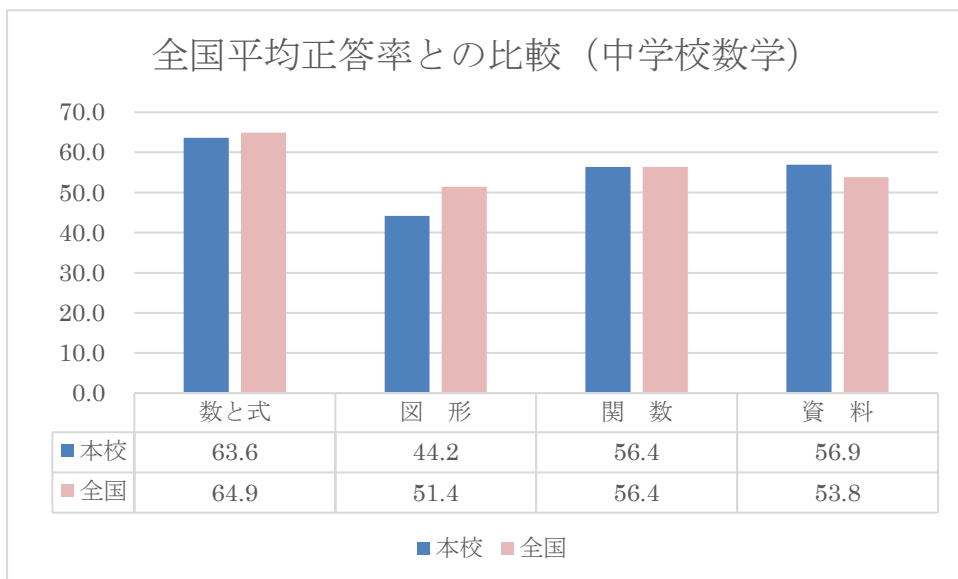
##### 【学校では】

- 生徒が主体的に学びに取り組めるよう、まずモデルを示し、それを参考にして生徒同士が意見交換をしながら深く学んでいけるようにします。
- 「読むこと」の教材で、読み取ったことを「話すこと」や「書くこと」で表現させるような授業の工夫を行い、取り組ませます。
- 上記の授業の中に、語彙力をつけさせる帯単元に取り組ませます。

##### 【ご家庭では】

- 良い書籍(文豪が書いたもの)を手始めとして、主に文学を中心に読書する習慣をつけさせてください。読書によって語彙力は高まります。(単語帳などを作りまとめると更にいいと思います)できれば、知識として得た言葉はご家庭でも意識して使うようにさせてください。
- 新聞のコラムや社説を読んで、専用のノートを作り、それに書かれていることの要約をしたり、その筆者に対する自分の意見を書いたりして、何かについて考える習慣をつけさせてください。

## 2 数学



### (1) 結果

ほぼ全国平均を若干下回っています。4領域のうち2領域で全国平均正答率を下回ったが、「資料の活用」の領域で全国平均正答率を上回っています。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より若干高くなっています。

### (2) 成果と課題

今回の調査では、「数と式」の領域の整式の加法と減法の計算問題の正答率が全国平均正答率を4.7ポイント上回っていました。また、「資料の活用」の領域の、データから中央値を求める問題の正答率を5.3ポイントも全国平均正答率を上回っていました。1～5の「数と式」「関数」「図形」「資料の活用」の基本的な問題は得意としているものの、6（3）、9（1）のような、文章を正しく読み取り数学的な見方や考え方をを使って説明をする問題を苦手としています。

資料の活用の2つの分布の傾向を比べ相対度数を活用して選択する問題が全国平均正答率を3.2ポイント下回るなど、問題形式の「選択式」の問題でも課題が見られました。

日々の授業で、問題文を正しく読み取り、数学的用語の意味を正確に捉え、その用語を活用して説明する取り組みが重要であると考えています。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 様々な見方や考え方ができるように、学び合い活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 「数と式」は、定期的な小テスト、すくすくテストの実施によって計算を確実にできるようにします。
- 「図形」「資料の活用」は、定期的に復習問題に取り組みせ、既習事項を想起させながら考えさせます。

#### 【ご家庭では】

- 授業で取り扱った内容を、再度、家庭で取り組んでみてください。
- 日常生活の場面で、数学的な課題を見つけ、楽しみをもって一緒に考えてみてください。（様々な建造物や物体から形の名称・面積・体積、時刻表から電車の平均の速さなど）

#### 4 生活習慣や学習習慣に関する調査

##### (1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	80.9%	81.8%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	37.5%	36.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	65.4%	57.6%
自分にはよいところがあると思いますか。	23.5%	34.5%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	29.4%	20.0%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	78.7%	74.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	83.1%	81.4%

起床・就寝については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていることは、とてもよい傾向です。自己肯定感については、やや低くなっています。承認の言葉を多く伝えるなど家庭と学校が協力して、生徒の育成を図っていきましょう。

挑戦心や規範意識の項目については、肯定的な回答をした生徒は全国平均よりも高い結果が出ています。

##### 《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	19.2%	19.4%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	6.6%	12.3%
「2時間以上、3時間より少ない」	38.2%	29.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	35.3%	34.1%
「30分以上、1時間より少ない」	14.7%	14.1%
「30分より少ない」	4.4%	6.4%
「全くしない」	0.7%	3.5%
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	21.3%	34.6%

家庭学習については全国平均を上回っています。特に、2～3時間の学習時間を確保している生徒が多くあり、家庭学習が身についているようです。自分で計画を立てて学習する習慣はまだ低い水準です。今後も家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、新型コロナウイルス感染症拡大による児童の心の問題も、大切な課題であるととらえています。

##### (2) 改善に向けての取り組み

###### 【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学习（自学）については、めあてを持ち、学習後には振り返りを記入するように指導しています。
- 始業前（8：10～8：25）の朝の読書の推奨をしたり、図書委員会を中心に読書イベントをしたり、ボランティアによる読み聞かせをしたりするなど、読書の機会を増やすための工夫をしています。効果が現れてきているので、これからも継続していきます。

###### 【ご家庭では】

- 規則正しい生活と家庭学習の定着することは、極めて大切なことです。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まり、自己肯定感や新しいことに挑戦する気持ちも高まります。
- 学習時間や自主学习の内容については、自分で決めて学習できるようになっています。今後は、進路に向けた具体的な取り組みや姿勢についてご家庭での話題にしてください。